

完了後の評価個表

整理番号	1-1
------	-----

事業名	森林居住環境整備事業	都道府県	群馬県
地域(地区)名	かぶらがわ 鏑川地区	事業実施主体	群馬県
関係市町村	下仁田町、南牧村、甘楽町	管理主体	下仁田町、南牧村、甘楽町
事業実施期間	H14~H18 (5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 当地区は、群馬県の南西部に位置し、東側に向かっては平坦部が開けているが、それ以外は急峻な山岳が連なっている地域である。関東平野北部縁辺部にあり、鏑川の水源地帯をなしている。安中市、高崎市、藤岡市、神流町、上野村に隣接している。</p> <p>② 森林の状況 当地区の森林面積は、34,771ha、そのうち人工林が18,644haを占めており、間伐等の森林整備が必要となる3齢級(15年生)から8(40年生)齢級の森林が3,157haで約17%を占めている。 また、地区内の森林のうち、水源涵養保安林に8,638ha、土砂流出防備保安林に6,783ha指定されており、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>③ 当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに18,644haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・除伐及び間伐等が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する期待が高まっていたところである。 また、当地区には森林整備を効率的に実施するための基幹となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、森林整備の遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、整備が必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、適切な森林整備を促進することを目的に林道を整備した。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林基幹道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>① 奥山六車線 <small>おくやまむくろません</small></td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 2,180m</td> <td>利用区域面積 1,773ha</td> </tr> <tr> <td>② 草喰八丁河原線 <small>くさばみはつちようかわらせん</small></td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 2,269m</td> <td>利用区域面積 1,309ha</td> </tr> <tr> <td>③ 稲倉高倉線 <small>いなふくみたかくらせん</small></td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 2,303m</td> <td>利用区域面積 535ha</td> </tr> </table> <p>集落林道整備</p> <table border="0"> <tr> <td>藤畑藤井線 <small>ふじばたふじいせん</small></td> <td>車道幅員 4.0m</td> <td>開設延長 1,251m</td> <td></td> </tr> </table> <p>総事業費 2,566,436千円 (当初総事業費 2,312,700千円)</p>	① 奥山六車線 <small>おくやまむくろません</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 2,180m	利用区域面積 1,773ha	② 草喰八丁河原線 <small>くさばみはつちようかわらせん</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 2,269m	利用区域面積 1,309ha	③ 稲倉高倉線 <small>いなふくみたかくらせん</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 2,303m	利用区域面積 535ha	藤畑藤井線 <small>ふじばたふじいせん</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 1,251m	
① 奥山六車線 <small>おくやまむくろません</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 2,180m	利用区域面積 1,773ha														
② 草喰八丁河原線 <small>くさばみはつちようかわらせん</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 2,269m	利用区域面積 1,309ha														
③ 稲倉高倉線 <small>いなふくみたかくらせん</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 2,303m	利用区域面積 535ha														
藤畑藤井線 <small>ふじばたふじいせん</small>	車道幅員 4.0m	開設延長 1,251m															

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成24年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 平成16年度に集落林道1路線の整備を追加したことにより、総費用及び総便益が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>4,704,480千円</td> <td>(事業採択時 2,641,135千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>4,112,343千円</td> <td>(事業採択時 2,100,595千円)</td> </tr> <tr> <td>効果分析(B/C)</td> <td>1.14</td> <td>(事業採択時 1.26)</td> </tr> </table>	総便益(B)	4,704,480千円	(事業採択時 2,641,135千円)	総費用(C)	4,112,343千円	(事業採択時 2,100,595千円)	効果分析(B/C)	1.14	(事業採択時 1.26)
総便益(B)	4,704,480千円	(事業採択時 2,641,135千円)								
総費用(C)	4,112,343千円	(事業採択時 2,100,595千円)								
効果分析(B/C)	1.14	(事業採択時 1.26)								

② 事業効果の発現状況	<p>林道整備により森林施業地までの到達時間の短縮及び施業コストの低減が図られ、整備前5年間の森林整備面積約810haに対し、整備後5カ年間で約890ha(1.1倍)に増加した。 稲倉高倉線及び草喰八丁河原線については、沿線の稲倉神社及び白倉神社への経路が短縮されたことにより、そこで行われる甘楽町指定重要無形民族文化財の太々神楽の鑑賞が容易になり、地域の文化への関心を高めることができた。</p>
-------------	---

③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>林道は、下仁田町、南牧村、甘楽町が定めた、林道管理規定に基づき適切に管理され、年数回の草刈りや側溝清掃、路面の整正等が行われ、良好な維持管理状況にある。</p>
---------------------	---

<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等により林業従事者の労働条件の改善や作業コストが低減され、森林所有者の森林経営に対する意欲が向上してきている。</p> <p>稲倉高倉線の開設により、稲倉山等を訪れる者が増加したことや、奥山六車線の延伸により下仁田町・南牧村境の木々岩峠や仏岩山を訪れる者が増加したことにより、森林の持つ機能の理解に資している。</p> <p>林道整備による、野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見られない。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>林道整備に伴い高性能林業機械が導入され、効率的な森林施業による労働強度の軽減や通勤時間の短縮が図られるとともに、森林組合において新たな職員が採用されるなど、雇用の拡大が実現した。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業に対する所有者の意欲は徐々に改善されているが、長期的な木材価格の低迷等により人工林の間伐等への森林整備は十分とはいえない状況にある。今後は、当該林道と林業専用道、森林作業道をつないだ路網整備や施業の集約化、高性能林業機械のさらなる導入等を推進し、より効率的かつ低コストな森林施業を引き続き推進する必要がある。</p> <p>また、当該事業により整備された林道等については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の意見： 林道整備により森林へのアクセスが改善されたため、適切な森林整備が実施され、水源涵養や山地災害防止等の公益的機能の発揮が向上している。(群馬県) 当地区の主要となる林道整備が進んだことで森林所有者の経営意欲が高まり森林整備が活性化している。(南牧村) 基幹林道の整備により、森林整備が促進されるとともに、登山や山菜採取のため地域外から多くの人を訪れている。(下仁田町、甘楽町)
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 森林整備を適切かつ効率的に行う基盤となる路網整備が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 現地の条件に応じた工種・工法で計画が作成されるとともに、事業実施に当たっても現地発生木材を利用するなど、コスト削減に努めたことから事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により森林へのアクセスや機能性が向上したことから、作業効率がアップし、森林整備や木材生産が促進されており、今後も一層の効果の発揮が見込まれる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名： 森林居住環境整備事業

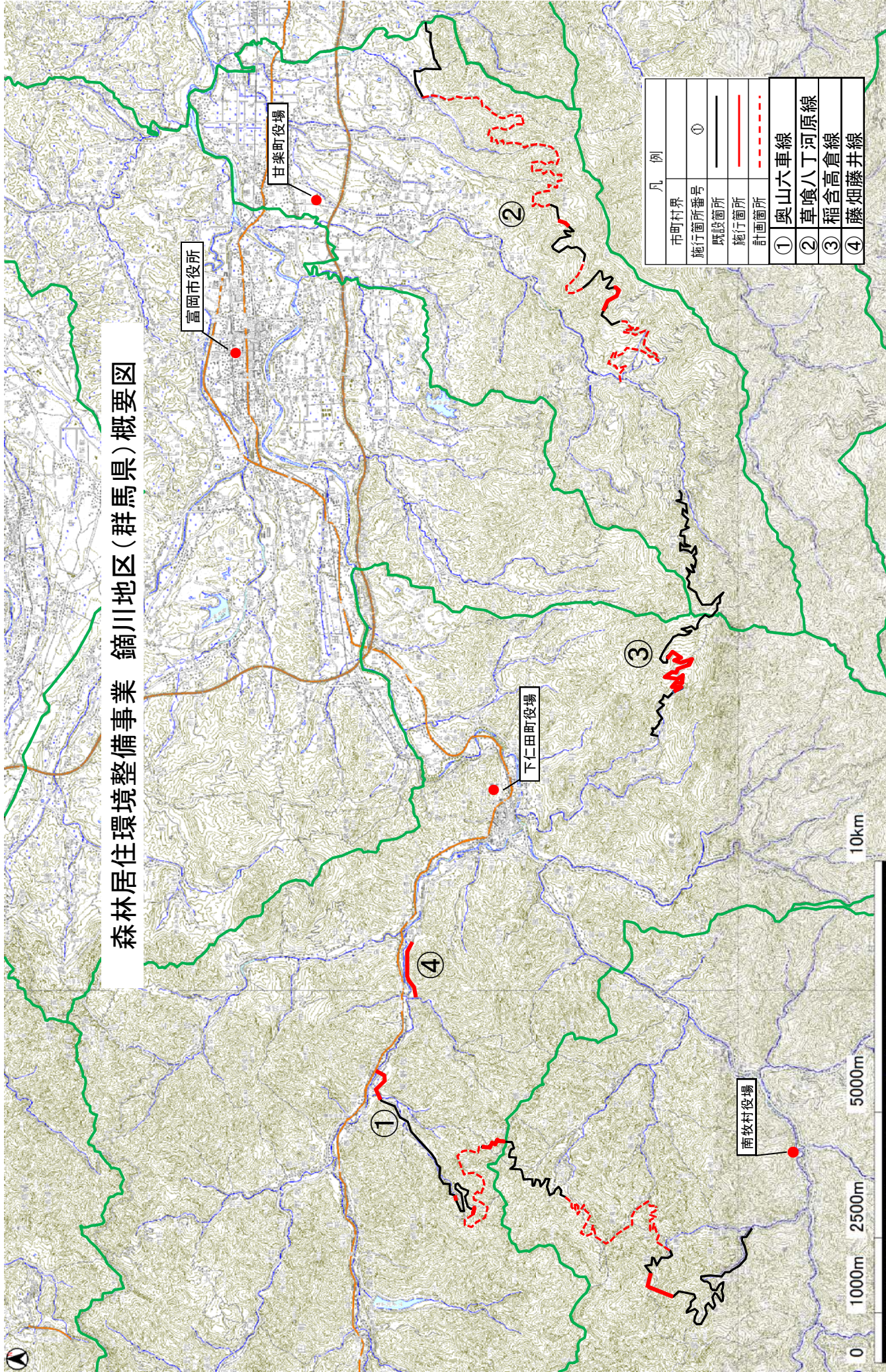
都道府県名： 群馬県

地域(地区)名： ^{かぶらがわ} 鐺川地区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	122,050	
	木材利用増進便益	57,325	
	木材生産確保・増進便益	361,824	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	9,424	
	治山経費縮減便益	2,219,932	
	森林管理等経費縮減便益	8,876	
	森林整備促進便益	1,382,394	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	54,913	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	22,988	
維持管理経費縮減便益		464,754	
総 便 益 (B)		4,704,480	
総 費 用 (C)		4,112,343	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,704,480}{4,112,343} = 1.14$		

森林居住環境整備事業 鐮川地区(群馬県)概要図



この地図は、国土地理院専長の承認を得て、同院発行の数値地図25000、50000、200000(地図面線)を複製したものである。(承認番号 平19総環、第851号) この地図の作成に当たっては、国土地理院専長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)、数値地図25000(行政界・海岸線)、数値地図25000(地名・公共施設)および数値地図2500(空間データ基盤)を使用したものである。(承認番号 平19総環、第18号)